

1年間柳川をPRする左から松本さん、中村、小森さん



柳 川のPRは私たちにおまかせを 30代目となる「水の精」3人が決定

今年度の観光柳川キャンペーンレディ「水の精」が決まりました。節目となる30代目の水の精を務めるのは松本早世さん(27歳)、中村百花さん(25歳)、小森愛美さん(18歳)の3人。松本さんと中村さんは社会人で小森さんは大学生です。彼女たちは「柳川ファンを増やせるように、まずは自分たちが柳川を好きになっていきたい」と意気込んでいます。3人は1年間、博多どんたく港まつりなどの各イベントで、柳川の魅力を国内外に発信していきます。

橋名板を書いた市内の中学生3人が人力車に乗って渡り初め



沖 端川に4代目三明橋架かる 橋の幅と氾濫防止機能を改善

3月29日、沖端地区と昭代地区を結ぶ三明橋の開通式が開かれました。明治31年の架橋以降、住民の移動を支えてきた同橋。今回の工事で橋の幅が6.28mから11mに広がり歩行者が安全に渡れるようになった他、川の流れを妨げる橋脚が4本から2本に減ったことで川が氾濫しにくくなりました。開通式では、橋名板を書いた市内の中学生3人が人力車に乗って渡り初めを行い祝福。昭代中学校3年の井口穂乃花さんは「より安全に渡れる橋ができてうれしい」と笑顔で話してくれました。



【上】開会式でくす玉が割られ、まつりがスタート
【下】まつりではさまざまなイベントが開かれた



身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】市企画課広報広聴係 ☎77・8425

集 まった柳川のよかもんたち 雨の中、2日間で約2万人来場

3月23日と24日、市民文化会館で第19回柳川よかもんまつりが開催されました。会場では約80ものブースで柳川の農海産物や加工品を販売。両日も雨が降る中、2日間合わせて約2万人が来場しました。巻き寿司作り体験やエビのつかみ取り、8年ぶりに復活した雲龍鍋の販売には長蛇の列ができていました。また、ステージでは市民によるダンス披露やのど自慢大会を実施。のど自慢大会では篠崎大輔さんが優勝し、「聞いてくれる人が温かい気持ちになれるように歌いました」と喜びを語りました。

優勝を報告する磯城嶋さん(左から2人目)



看 護師との二刀流でベルトを狙う 磯城嶋さんが総合格闘技で新人王を獲得

1月に行われた総合格闘技日本修斗協会2023年新入王トーナメントバンダム級で市出身の磯城嶋一真さん(29歳)が優勝しました。普段は看護師として働きながら夜間にトレーニングに励んでいる磯城嶋さん。トーナメントでは2試合を勝ち抜き決勝へ進み、決勝では延長にもつれこむ接戦を制して優勝しました。3月19日に金子市長へ報告に訪れた磯城嶋さんは「格闘技は今しかできない。看護師と格闘技との両立で世界チャンピオンを目指したい」と意気込みを語りました。

着飾った幼児らを乗せて進むどんこ舟



柳 川の春を彩るおひな様 2年ぶりにおひな様水上パレード開催

今年で30回目を迎えた春の風物詩「柳川雛祭り さげもんめぐり」。そのメインイベントのおひな様水上パレードが、3月20日に開催されました。着物姿の子ども100人の他、お内裏様やおひな様の格好をした大人らが9艘のどんこ舟に乗舟し、沖端地区から三柱神社までをパレード。掘割沿いや橋の上に集まった観光客や保護者が手を振ったり写真を撮ったりしていました。6歳の娘が乗舟した男性は「愛娘の華やかな姿を見られて良かった」と感動していました。

先生に名前を呼ばれ元気に返事をする新1年生



友 達たくさん作りたい 市内の小学校に新入生448人が入学

市内小学校の入学式が4月10日、各校で開催されました。今年度入学した新1年生は448人。藤吉小学校では、少し大きな制服に身を包んだ55人が入学しました。入学式の後、教室に入った新1年生は、先生に名前を呼ばれると大きな声で返事。これから始まる小学校での生活にわくわくしているようでした。小林巧弥さんは「1年生になったら算数を頑張りたい。友達をたくさん作りたい」と目を輝かせて目標を教えてくださいました。

沿道の声援を受けながら有明ひまわりセンター前をスタート



お もてなしの心でランナー迎える 国内外から828人が干拓地を駆け抜ける

おもてなしの心で特産品など市の魅力を広くPRしようと3月17日、市は第10回柳川おもてなし健康マラソン大会を橋本町一帯で開催しました。昨年に続きタレントの猫ひろしさんをゲストに迎えた今回は、市内をはじめ遠くはポーランドから828人が集結しました。号砲とともに有明ひまわりセンター前をスタートし、広大な田園風景や有明海沿いの堤防を駆け抜けたランナーたち。ゴール後には、うなぎの蒲焼きやあまおうなど柳川が誇る特産品を堪能していました。